

つが
お
もり

梅尾の杜

に [みやざきの神楽]
国立能楽堂公演

沁み入る
舞と唱と



2023年9月20日 [水]

開演13:30 終演17:30 (開場1時間前)

国立能楽堂

東京都渋谷区
千駄ヶ谷 4-18-1

観覧無料

要事前申し込み【全席指定】
お申し込み方法は裏面をご覧ください。

主催:宮崎県 共催:椎葉村 後援:藝能学会

KAGURA of Tsugao National Noh Theatre

2023, September 20th wed. 13:30-17:30 *open:12:30-
Free Admission *Reservation Required:Web, Tel. or Fax



つが お もり 梅尾の杜

に [みやざきの神楽]
国立能楽堂公演

沁み入る 舞と唱と

宮崎県は『古事記』や『日本書紀』に描かれた日向神話の舞台であり、県内各地に神話ゆかりの地や伝承、神楽などが数多く残されています。

それぞれの里に伝わる神楽は、その地の暮らしや風土と密接に関わり合いながら大切に継承されてきました。現在も200を超える神楽は、みやざきの「宝」であり、日本固有の無形民俗文化財として多くの関心を集めています。昨年、全国神楽継承・振興協議会が設立され、ユネスコ無形文化遺産登録に向け新たな動きも始まりました。

今年で7回目を迎える国立能楽堂公演では、椎葉村の梅尾神楽が舞い降ります。



みやざきの神楽 国立能楽堂公演 梅尾の杜に沁み入る舞と唱と

基調講演:辰巳正明氏 國學院大學名誉教授

演目解説:小川直之氏 國學院大學名誉教授

神楽公演:梅尾神楽 国指定重要無形民俗文化財(椎葉神楽)

専門は日本上代文学・東アジア比較文化研究。中国貴州省黎平県岩洞のトン族の村に入り神話・祭祀・歌謡の研究を十数年間続ける。現在は『万葉集』の研究と注釈に力を注いでいる。北京日本学研究中心専家・上代文学会代表理事などを務める。

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやざきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。

梅尾神楽は、九州山地の山間、急峻な山腹に位置する梅尾神社拝殿にて毎年11月22日に奉納されます。天正の頃、黒木清門之助(さえもんのすけ)が肥後の阿蘇神社にて神楽を習得し、梅尾に持ち帰ったとのが始まりと言われます。寛永9年の墨銘をもつ女面など神楽面が6面、今も大切に受け継がれています。

2023年9月20日〔水〕開演13:30 終演17:30(開場1時間前) 国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

お申し込み方法
Reservations

観覧無料
Free Admission

WEB、TELまたはFAXよりお申し込みください。応募期間:9月4日[月]まで
※一度にお申し込みできる人数は2名様まで。※応募多数の場合は抽選となります。



WEB

◀QRコードまたは下記URLよりお申し込みください

<https://www.umkag.com/events/miyazaki-kagura-nougakudo/>

TEL

0985-22-1122 平日10-17時

FAX

0985-22-1128

○申込者名、郵便番号、住所、連絡先(TEL/FAX/メールアドレス)をお知らせください。※2名様でお申し込みの場合、申込者名・連絡先は2名様分必要です。

○当落通知はメールまたはハガキにてお知らせいたします。○ご応募の際に頂いた情報は抽選結果の通知、受付対応以外に使用することはございません。

○お問い合わせ:「みやざきの神楽 国立能楽堂公演」事務局(株式会社UMKエージェンシー内)TEL:0985-22-1122 FAX:0985-22-1128 ※平日10-17時



国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
JR:中央・総武線 千駄ヶ谷駅より徒歩5分

地下鉄:副都心線 北参道駅 出口1より徒歩7分

都バス:早81・黒77 千駄ヶ谷駅前より徒歩5分